

# FLORE21 ホットニュース

台風 13 号が千葉県に大きな爪痕を残していきました。  
房総半島、茂原市などで記録的な短時間での大雨が降り、多くの被害が出ています。  
花の生産現場でも、ハウスへの浸水により苗の水没など秋から冬の出荷に影響がでるだろう、被害を受けているそうです。  
お見舞いを申し上げるとともに、被害が最小限で収まっていることを祈るばかりです。

今週のホットニュースは、

- 大田店 重陽の節句と菊（マム）との関係
- 世田谷店 山下公園ぶらり散歩
- 葛西店 バンダの「根」の働き
- 会長小池のコラム(過去記事) 「本物」に出会えたか

以上の3+1 レポートです。それでは、どうぞご覧ください

## OFLOの部屋

9月に入りまだまだ暑い日が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか？  
正直、人はもちろん植物もこの暑さにはお手上げ状態なのです(°Д°)



そんな中毎年恒例の9月9日がやってまいりました・・・

『重陽の節句』でございます！

前日ではありますがフローレ 21 大田店では9月8日に『重陽の節句』フェアを開催しました(‘ω’)ノ

### 重陽の節句といえば菊(マム)

今回はフェアで飾られたマム(ディスバットマム)を少しですがご紹介させていただきます！

そのまえに、なぜ重陽の節句と菊が結びついているかと申しますと・・・

他の五節句と比べて馴染みの薄い節句ではありますが、元々は平安時代から始まり江戸時代では庶民の間でも広く親しまれていた季節の行事です。

旧暦の9月9日は現在の10月中旬頃で菊の花が美しく、菊は邪気を払う力持つと信じられていたこともあり、菊を鑑賞したり、菊の花を漬け込んだ酒を飲んで無病息災、不老長寿を願ったりしたとされています。

また収穫の時期と重なり『栗の節句』とも呼ばれ、栗ご飯や栗まんじゅうで祝う風習もあります。



フェアのポップにものせていました『カフカ』

小さいけど存在感があって結構好きです(\*' ω' \*)

チェコ語では『コクマルガラス』という小型のカラスの名前で、『フランツ・カフカ』という作家もいますが・・・

名前の由来が知りたい(◎\_◎:)



最近ではすっかりお馴染みの『ピップサーモン』 ↓



個人的に一番のお気に入り(\*´▽`\*) 『パンプキン』 ↓

パンプキンという名前で輸入のマムがありますがそちらは濃いオレンジのデコラ咲です。

こちらのパンプキンは黄色地に濃い絞りの色が入る今までなかった色合いのマムです！！

今は気温がかなり高いので黄色ベースの色合いですが、10月以降で気温が下がったら全体の色が少しオレンジ掛かってくると思います。



変り咲 『セイマノア』 ↓

ハワイ・オアフ島のマノアにあるマノア滝・・・水の飛び跳ねるような滝の動きを表

現してるのかな？

勝手に想像してみました(˘ω˘)



オレンジのデコラ咲で最近定番になりつつある『タンボーラ』 ↓

タンボーラって楽器(打楽器)の名前だったんですね・・・(..)ゆメモメモ



紫色の『ラミラ』

本当はもう少し濃いピンク寄りです・・・  
色抜けです・・・

でもこれはこれで綺麗です！

夏ですね(˘\_˘)

淡ベージュの『エファサーモン』  
 本当はもう少しアプリコットです  
 こちらも色抜けです・・・  
 こっちももちろん綺麗です！  
 夏ですね(ゝ\_ゝ)



全体的にどれもまだまだ夏の色という感じですが、季節で色が変わってもどれも綺麗で惹かれる品種ばかりでした(=°ω°)ノ

大田店 高木

# 世田谷店おすすめ

朝の涼しい時間に横浜の日本大通りから山下公園を花散歩してきました。



日本大通りは、パリのシャンゼリゼ通りを模して造られた日本初の西洋式大通りです。  
 全長が430m、横浜スタジアム横から海へ向かって真っすぐな通りです。  
 1866年の横浜大火を契機に防火対策として設計されました。  
 当時の植栽は1923年の関東大震災で焼失。1927年から3年間かけてイチョウ  
 が植栽されました。ですので、今のイチョウは樹齢が90年以上です。  
 中央と右側、暑さに負けず、ヒマワリが元気に咲いています。  
 右側の紫の花はルエリア、ヒマワリとの色の対比がきれいです。

ルエリアの後ろにはピンクのミニバラが咲いています。  
続いて山下公園に向かいます。



左からみなとみらいをバックに山下公園、氷川丸、赤い靴はいてた女の子の像。

山下公園は関東大震災の復興事業として、がれきを埋め立てて作られた臨海公園です。  
海への眺め、芝生の広場、歌碑や記念碑など見どころが多い公園です。

バラ園は公園の中央に位置し、開園当初は居留置時代のフランス波止場の雰囲気を残す船溜まりでしたが、これを埋め立て作られたのが沈床花壇です。  
フランス式庭園を思わせるようなシンメトリカルな花壇を配置しています。  
宿根草や一年草など四季折々に咲く草花を植栽し年間を通して花を楽しむことができます



左側、白系でまとまっています。ユーフォルビアの氷河が見ごろです。  
中央、赤系でまとまっています。コリウスの赤が目を引きます。  
右側、バラが暑い中よく咲いています。この時期に咲いていてびっくりです。



噴水には「水の守護神像」があります。

姉妹都市を結ぶサンディエゴに横浜は茶室を寄贈。そのお返しとしてサンディエゴから水の守護神像が寄贈されました。



噴水周りの花壇です。ジニアのピンクを中心にセロシアのアジアンガーデン、センニチコウが植栽されています。



中央広場は噴水を中心にシンメトリカルに植栽されています。中でもツゲを使った流線的な生垣が目を引きます。

秋の色合いをイメージした植え込みではオレンジや黄色のケイトウやジニアのプロフュージョンがきれいです。

2枚目の後ろに写っているベルはエル カミーノ レアールのミッションベルでサンディエゴ横浜姉妹都市提携25周年を記念して寄贈されました。水の守護神像を囲むように4基のミッションベルがあります。



左側、中央広場横のパーゴラは暑い中バラが咲いています。

足元にはジニアをメインに観賞用トウガラシのパープルフラッシュなどが植えられています。

芝生広場ですが山下公園には3か所あります。

中央は横浜のシンボルのマリインタワーをバックに芝生広場です。

人が少ない時間だったので、ワンちゃんが走り回っていました。

左側はみなとみらいをバックに芝生広場です。今は暑いので木陰が涼しそうですが、レジャーシートを敷いて寝転んだりすると、とても開放的な気分になりますね。

9/9と10日はみなとみらい地区でベトナムフェスタ in 神奈川2023が行われます。  
美味しいバイミーやフォーを買って山下公園で花を見ながら楽しむのはいかがですか？

加工部 角田

## 仕入れの素☆葛西店



以前と比べ、風が吹くようになってきて過ごしやすくなっている反面、雨の多いジメジメした天気が続いています。

そんな中の月曜日に一風変わった品が入ってきたのでご紹介！！

台湾 【ルージュ】さんの  
バンダの根です！

バンダのお花はよく見ますが、根っこはあまり見かけませんよね。



バンダといえば、紫色の三枚の花弁に三枚のがくに可愛らしい唇弁がある印象の深いお花ですよね。

バンダは少し変わったお花で、背の高い木などに根を絡ませて、霧など空気中から水分を吸収しながら育ちます。



触ってみると、木にまとわりつくこともあってかなりしなりやすいです！

この根っこが木に纏わりついて成長していきます。

最近は専用のガーデニングバスケットや、ある程度養生されているものがでています。



バンダの根の内部はスポンジ状でしっかりと空気内の水分を集めて、白い部分は水分の蒸発を防ぐ役割を果たしています。

そのため透明な花瓶に入れても長持ちすること間違いなしです！





実際に鉢から育てて、独特な根を楽しむもよし、根とバンドの花を別々にいけて楽しむもよし。

いかがでしょうか？

葛西店 酒井

## 会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

### 「本物との出会い」(2013年09月06日号より)

人間長く生きていくとたくさん良いことに出合える。

先日友人が私のはいている靴を見かねて、ナイキのニューモデルのランニングシューズを買ってきてくれた。早速履いてみると、なかなか快適である。それだけではなく足の裏でしっかり地面を捉えて、土踏まずにも歩いている感覚が伝わってくる。勿論軽く、階段も容易に上れる。元気で歩けるからこそ、このような優れたものに出合える幸せを享受できる。

新製品が出ると古いものはやがて消えていく。このシューズもきっといつの日にか、新しいランニングシューズに取って代わられるときがあるのだろう。

50年以上、その座を他の商品に譲っていない商品がある。キッコーマン卓上醤油びん。誰もが「あれか」とその形と注ぎこぼしのないシンプルで無駄のないデザインを思い浮かべられると思う。

商品開発当時、最大の難題は「液だれ」でした。注ぐために傾け、それを元に戻すと注ぎ口からもれてしまう。そのため、しょうゆさしには必ず受け皿が添えられているものが多かった。思考錯誤を繰り返した末に、とうとう誕生したのが現在の形です。握りやすさ・安定感などの機能性も追求し、さらには親しみやすく美しいデザインが発売当初から改良の余地のない完璧な商品だった。

私が中学の時、公団住宅の抽選に当たり、府中のアパートに引っ越した。今までの畳の生活からテーブルの生活へ、そしてその醤油卓上びんがテーブルに乗るだけで文化的な生活をしている気になった。家族すべてが働いていた環境で、唯一働いていない私が夕食を担当。買い物から料理、家計簿まで仕切っていた。丸ちゃんが「上を向いて歩こう」を歌い、日本中の人たちが貧しい中でも明日への夢を持っていたように思う。

食生活の中での醤油は、一升瓶からガラスの醤油瓶に移して使うものだった。このキッコーマン卓上醤油びんをテーブルの上に置くだけで新しい生活に期待を持たせるような。ただの醤油びんでなかったことを記憶している。それが現在でも世界に



流通しているロングセラー商品であることに、改めて驚く。

この商品を誕生させたインダストリアルデザイナー栄久庵憲司 84歳。彼が率いる創造集団G Kの作品展が2ヶ月にわたり世田谷美術館で行われていた。工業デザイナーとして成田エクスプレスの電車からヤマハのオートバイ、魔法瓶まで、機能性、美しさと使い勝手のよさが手に取るように見えた。卓上びんの醤油は光を受け醤油の色がどこまでも美しく見えた。

ヤマハの125cc MOEGI は線の美しさ、車体はバイクの概念をすべて捨て去り、静かに緑の木々の中を自分だけのツーリングを楽しむそんなバイク。栄久庵憲司の作った物は彼の心が宿っている、本物とはその物だけから感じる何かを持っている。

そんなに長くない人生でこれからどれだけ本物に出合えるチャンスが訪れるのか、わからない。

いや出会いを待つのでなく自らが本物に会いに行かなければいけない。

☆☆

**株式会社 FLORE21** <https://www.flore21.com>



<http://www.facebook.com/flore21com>

<https://www.facebook.com/flore21jp/>



FLORE 21

世田谷店	Tel 03-5494-8700	Fax 03-5494-8701
大田店	Tel 03-5492-4124	Fax 03-5492-4127
葛西店	Tel 03-5659-8750	Fax 03-5659-8751
板橋店	Tel 03-6904-1813	Fax 03-6904-1814

☆☆